

# 自己紹介

【氏名】 原 大周（はら だいしゅう）

【所属】 国立研究開発法人シンエネルギー・産業技術総合開発機構  
水素・アンモニア部 水素共通基盤ユニット長

【略歴】 長野県長野市出身。  
NEDO入構後、主に電気化学分野や国際関連業務を担当。  
2003年～2011年 材料、蓄電池分野等  
2011年～2015年 バンコク事務所  
2015年～2021年 燃料電池、水電解分野等  
2021年～2025年 ワシントンDC事務所  
2025年3月～ 現職

【趣味】 魚釣り、車の運転、テニス、スキー、お酒を交えた歓談等

# 本日の趣旨

- 国際水素サプライチェーンは構想から社会実装段階へ。
- 早期実現のためには、例えばキャリアの選択、輸送距離・規模、既存インフラとの組合せなど、用途や地域に応じた最適設計の考え方が重要。
- 特に東京都のような大需要想定地において、限られた空間で安全・安定・経済的に水素を利用するための工夫技術そのものに加え、データ活用、運用設計、事業スキームも鍵。
- 本分野に関係する専門家からのご意見や、ご来場皆様のアンケートを通じて考察を深める。